

1 当該学年・学期等における探究課題 《美星のまちおこし、課題解決の提案》

2 単元名 『美星プロジェクト』（全30時間＝実施時期：4月～9月）

3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

・身につけた学び方をいかし、人々の思いや願いを理解するとともに、課題を見だし、課題の解決に向けて主体的協働的に情報を収集し、目的に応じて整理したり関連づけたりして考え、取り組む態度を育てる。  
 ・自分と地域との関わりを考えながら、今後の地域のあり方、自分の進路や生き方を考え、実践していく態度を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		これまでの地域学習を振り返り、地域の願いや課題を認識する	問い合わせ、ICTの活用、インタビュー	タブレット端末の活用	発表会
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> <small>(郷土愛と当事者性)</small>	美星町の現状を知る	地域の方へのインタビュー		ふるさとへの提言
	<b>やり抜く力</b> <small>(忍耐と向上心)</small>	美星プロジェクトの狙いを知り、見通しをもって粘り強く取り組む		個人で提言をまとめる	発表会を成功させる
	<b>まき込む力</b> <small>(発信と協働)</small>	取り組む視点、方向性を地域の方の意見を求める	地域の方への講演依頼		保護者など地域の方への発表会
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>				
	<b>ひと</b>	故郷・地域の方、井原LOVERSの方からの課題提起	故郷・地域の方、井原LOVERS、地域おこし協力隊の方から情報提供		保護者など地域の方への発表会
	<b>しごと（こと）</b>				
<b>アウトプットの工夫</b>		・発表会で、完成した美星プロジェクトの発表の中に「ふるさとへの提言」を組み入れて、ふるさとへの思いを強く持つことができるようにする。 ・地域の方や地域おこし協力隊の方に発表を見ていただき、実現可能なものがあれば実現につなげるような道筋を持っておく。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

学級活動 道徳

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

美星中学校生徒、井原LOVERS、地域おこし協力隊、美星中学校区ひとづくりネットワーク運営協議会、美星町観光脅威会、学校評議員

